

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を厳守したスペースを確保しています	運動する時は、スペースを確保できるように気を付ける。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で決められた配置数である。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援室は、注意をそらせるものや、掲事物をなくし、すっきりとさせている。	段差はないが、ドアが少し小さい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃・消毒・整理整頓の徹底を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々の会議・モニタリングでの話し合いを中心に行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。公開する予定である。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今回の評価結果を業務改善につなげていく予定である。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		出来る限り行くようにしている。パソコンでの研修や先生が来て下さるときもある。	会社の研修体制が整っているが、遠いため、なかなか時間が取れない。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	いくつかのアセスメントツールを参考にして	いくつかのアセスメントツールはあるが、標準化してうまく使用できていないため、今後考えていく。

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	日々の振り返りの中で家族の困りごとの聞き取りや学校等の地域についての聞き取りや進路等のアドバイス、調整し、必要に応じて支援計画にも盛り込んでいるが、支援計画で項目別には設定していない。今後、必要に応じて項目として入れていくことも検討する。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	支援計画に沿って日々の状況に合わせて支援の内容を考えて提供している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	支援内容は共有し、全職員で支援内容を教えあっている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	固定化したほうが良いお子さんいるため、子どもの反応と状況に応じて意欲的に取り組むことが出来るように工夫している。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○		現在人数が少なく集団活動が出来ていない。2月には予定している。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		支援前に打ち合わせを行えない時もあるが、支援後にこれからについて話すことは出来ている。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		時間がないとき以外は、支援後の振り返りをし、指導員同士で共有出来ている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	毎週記録のチェックを行い記録漏れがないようにしている。毎日職員全員で振り返りを行い検証・改善に努めている。	

関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3か月に1回モニタリングを行い（1月からは、6か月に1回に変更）計画を見直している。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		サービス担当者会議がなく、参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	訪問は行っている。	連携までは取れていない。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者なし。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		訪問して連携は図っているが、保育所やこども園との情報をえることは難しい。しかし、保護者から日頃の様子情報を得ている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		まだ該当者がいないため、行っていないが今後考えていくつもりである。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		訪問し連携する努力を行っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。

	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		毎月の定例会に出席している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回保護者とフィードバックを行い、共通理解を持つ努力をしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		相談を受け、個々の対応はしているが、家族支援プログラムにまで

					は、至っていない。今後考えていかなければいけない。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や、毎月の領収書・請求書発行時に行っている。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		振り返りの時間、子どもさんを待っている時間を利用し、出来る限り保護者とコミュニケーションを取るようにしている。わかる範囲で助言と支援を行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママカフェ等を行っている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いつでも保護者が話しやすいような対応を心掛け、お会いした時声をかけるように努めている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に会報の発行はしていないが、カレンダーは毎月、ブログは月3～4回発信している。また、連絡事項がある都度掲示して伝達している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的情報を利用し情報伝達している。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	外部向けイベントを行っている。	個別中心なので、行いにくい。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時に説明し、事業所にも掲示している。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月行いポスター等でお知らせしている。	指導員だけの訓練ばかりのため、保護者への周知徹底がなされていない。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談時にお聞きしている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		基本的に食物の提供は行っていない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリとしたときは、全員で共有し、対応策を考え同じことを繰り返さないように気を付けている。ヒヤリハットの事例について自事業所の方はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			対応についての話し合いは行われているが、研修機会がまだ確保できていない指導員もいる。。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在、該当児はいないが、重要事項説明書にも掲載し、契約時に説明を行い、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校 保護者等数（児童数）2 回収数 2 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	0	0		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	0	0	1		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	0	0		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	0	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。